

告 辞

学長 上野 正雄

新入生の皆さん、明治大学の学部・大学院・専門職大学院への入学、おめでとうございます。

今日、明治大学校歌に「白雲なびく」と謳われている、ここ駿河台で、皆さんを明治大学の仲間として迎え入れることは、学長として大きな喜びです。

また、これまで皆さんの成長を温かく見守り、支え、励まし、ときに背中を押してくださったご家族やご関係の皆様にも、心よりお祝い申し上げます。明治大学でさらに大きく成長していく学生たちを、これからも温かく見守っていただきたいと思います。

さて、皆さんは今日から、新しい環境で学び始めます。

大学では、専門的な知識や技能を身に付けます。しかし、大学で学ぶものは、それだけではありません。

大学とは、自らの意思で、これまでの自分を超越、新たな自分をつくっていく場所でもあります。

人は、一人で自分をつくることはできません。アリストテレスは、「人間は社会的動物である」と述べました。人は、他者との関わりの中で学び、考え、自分が何者なのかを知り、そして自らを形成していく存在です。

これから皆さんは、これまでとは異なる多くの人と出会うことになるでしょう。

自分とは異なる考えを持つ人、自分とは異なる文化や経験を持つ人、自分とは異なる専門分野を学ぶ人。そうした出会いの中では、ときに意見がぶつかることもあるはずです。自分の考えが否定されたように感じることもあるかもしれません。

しかし、そこで立ち止まらないでください。自分とは異なるものに出会ったときにこそ、自分自身を見つめ直す機会があります。

多様性を尊重することは、他者のためだけではなく、自分自身が成長するためでもあるのです。

その意味でも、学部に入學された皆さんにぜひ活用してほしい制度があります。本年度から、明治大学では「副専攻プログラム」が始まりました。所属する学部で専門的に学びながら、別の分野を体系的に学ぶことのできるプログラムです。

一つの専門を深く学ぶことは、もちろん大切です。しかし、異なる分野の知識や考え方に触れることで、これまで見えていなかったものが見えてくることがあります。

異なる専門を学ぶ学生と出会い、異なるものの見方を知る。その経験が、自分の専門を改めて見つめ直すきっかけになることもあるでしょう。

専門の垣根を越えて学ぶことは、自分の可能性の垣根を低くすることでもあります。

ぜひ、自分の学部・研究科だけに世界を限定せず、明治大学という大きな学びの場を存分に活用してください。

そして、もう一つ、皆さんに大切にしてほしいことがあります。

それは、一步前へ出ることです。

興味を持ったことがあれば、やってみてください。少しでもやってみたいと思ったことがあれば、挑戦してください。

もちろん、失敗することもあるでしょう。むしろ、うまくいかないことの方が多いかも知れません。しかし、失敗は終わりではありません。

むしろ、前向きな失敗を経験し、そこから学び、もう一度挑戦することにこそ、大学で学ぶ大きな意味があります。

ゼミナール、課外活動、留学、ボランティア、地域との交流など、皆さんが一步踏み出すことのできる機会が、明治大学には数多く用意されています。

そうした経験を重ねる中で、皆さんは今よりも一層、自分で考え、自分で選び、自分で行動する人になっていくでしょう。

それは、明治大学が創立以来大切にしてきた「権利自由、独立自治」という建学の精神にも通じています。

自由とは、自ら考え、自ら判断し、その選択に責任を持つことです。そして、自分の自由を大切にするからこそ、同じように他者の自由も尊重する。

そのような自由な主体へと成長していくことを、明治大学は皆さんに期待しています。

しかし、皆さんの大学生活に、あらかじめ決められた一つの正解があるわけではありません。

何を学ぶのか。

誰と出会うのか。

何に挑戦するのか。

そして、どのような人間になっていくのか。

その答えをつくるのは、自由な主体である皆さん自身です。

大学を卒業・修了する日に、完成した自分に出会う必要はありません。むしろ、所定の学びを終えたとき、これからも自分をつくり続けていこう、自己実現を目指していこうと思えることこそが、大きな学びなのです。自己実現とは、一つの目標に到達することではありません。人との出会い、学び、挑戦、そして時には失敗を重ねながら、自らをつくり続けていく一生のプロセスです。

今日から始まる明治大学での時間を、そのための大切な時間にしてください。

そして、迷ったときには、ほんの少しでも構いません。

一步前へ。

その一步が、新しい出会いを生み、新しい学びを生み、まだ知らない自分との出会いにつながっていきます。明治大学は、皆さんのその一步を支えます。

85 名の新入生の皆さんのこれからの歩みが、実り多きものとなることを心から願い、私からのお祝いの言葉といたします。

ご入学、誠におめでとうございます。